

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：横浜市上大岡東保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：工藤 陽子	定員（利用人数）：82名（85名）
所在地：〒233-0001 横浜市港南区上大岡東1-18-18	
TEL：045-846-3938	ホームページ：
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1970年8月	
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市	
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員： 23名
専門職員	保育士：園長 1名 調理師： 2名
	保育士：主任 1名 栄養士： 1名
	保育士： 26名 調理員： 4名
施設・設備 の概要	0～2歳児室： 2室 事務室： 1室
	3～5歳児室： 3室 職員休憩室： 1室
	遊戯室： 1室 トイレ： 4室
	調理室： 1室
	鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 666.48m ²

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きる力の基礎を育む保育 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動できるように援助し、人と関わりながら生きる力を育てていきます。 ・子どもの成長や子育ての喜びを保護者と分かち合っていきます。 <p>【園目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心も体もいっぱい動かそう ・自分もみんなも大好き <p>【保育姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりのありのままを受けとめます。 ・子どもの主体的な活動や子ども同士の関わりを大切にしていきます。 ・保護者と信頼関係を築き、家庭と協力して保育をすすめます。 ・地域に開かれた身近な保育園として、子育て支援を行っていきます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>【立地および施設の概要】</p> <p>横浜市上大岡東保育園は、京浜急行電鉄または横浜市営地下鉄ブルーライン上大岡駅</p>

から徒歩8分、丘陵地のマンションや住宅が立ち並び静かな住宅地にあります。近隣には四季を感じられる久良岐公園等の公園があります。園舎からは富士山、少し歩くとみなとみらい地区が見晴らせます。

1970年8月に大岡保育園として横浜市南区に開園後、1988年1月に現在の港南区に移転・改築して、定員を60名から80名に増員し、上大岡東保育園として開園しています。園舎は、鉄筋コンクリート造り2階建てで、乳児用と幼児用に分けた横長の園庭があります。2024年に民間移管が予定されています。

クラスは5クラスで、0歳児と1歳低月齢児、1歳高月齢児と2歳児が、それぞれ同じクラスで一緒に過ごしています。現在は0～5歳児85名（定員82名）が在籍しています。

【園の特徴】

- ・理念や方針に基づいて、子ども一人ひとりのありのままを受けとめ、子どもが主体の保育を行っています。子ども一人ひとりが持っている力を発揮し、やりたいことが存分にできる環境を整え、楽しく取り組める活動を援助しています。
- ・保護者から伝えられる子どもの姿から、多面的に子ども一人ひとりを理解し、保育を進めています。また、行事についても保護者の思いを受けとめ、子ども主体のものとなるよう検討しています。
- ・3～5歳児クラスでは、異年齢活動を取り入れ年間を通じて活動しています。また、子ども同士が話し合う機会を多く持っています。
- ・横浜市港南区では食育推進事業に取り組んでおり、園でも栽培や食育活動を積極的に進めています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月11日（契約日） ～ 2023年1月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（2018年度）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

1. 3～5歳児クラスの子どもの自主性や活動意欲を引き出すサポート

クラスごとの活動をその場で終わることなく、子どもの意見をとり入れながら遊びの中で展開したり、日を変えて次の活動につなげたりしています。

3歳児クラスの「新聞紙遊び」は、たくさん広げた新聞紙を子どもたちが思い思いに触りはじめ、丸めたり引き裂いたりしながら、床に広がった新聞紙の上で遊びました。新聞紙遊びを繰り返す中で、遊んだ新聞紙をゴミ袋に入れて運ぶゲームに展開しています。

4歳児クラスでは、園庭に保育士が水を入れたタライを置くと、一人の子どもがそばで穴を掘りだし、見ていた子どもたちも一緒に掘りました。「橋になったね」と水を流しました。周りの子どもたちも「みんなで水くんでこよう」「面白そう」とどんどん穴を掘り、水を流しました。「ほんとうの川みたい」「みんなにも見せたい」と満足そうでした。

5歳児クラスの「体で音楽を作ろう」では、「体のいろんな部分で音を出して遊ぶ」→「いつも使っている道具や入れ物もいい音がでることに気づく」→「廃材やペットボトルで楽器を作る」と展開していました。また、「身につけてみよう」からファッションショーに展開したり、「水族館ごっこ」ではいろいろな作品を作りみんなを招待したりしています。子どもたちの会議を行い、泣いても怒っても納得できるまで話し合い、活動に取り入れています。

2. 働きやすい職場作りの工夫

主任が作成したシフト表をもとに、各クラスの担任がクラス職員の「研修」や「事務」等の時間をシフト表上に確保することにより、時間外労働の削減を図っています。

「研修」や「事務」の時間は、人手が欲しい業務があるときに応援可能な職員を組み入れたり、事務所内のホワイトボードに各クラスで手伝って欲しい作業を書き出し、応援可能な職員が臨機応変に手伝いに入るなどの体制を構築することにより確保しています。

また、コロナ禍において、職員が密にならずに休憩が取れるよう、玄関ホールの応接セットを休憩場所として提供しています。

3. 地域の福祉ニーズ等に基づく活動への積極的取組

ベビーマッサージや食育講座、園庭開放、絵本の貸し出し、育児相談、絵本の読み聞かせ、誕生会等、地域に向けて多彩な育児支援を行っています。コロナ禍のため園児との交流は控えていますが、地域の子育て家庭が孤立しないよう、保護者や子ども同士の関係性作りに向けて「ひまわりの種まき」「チューリップを植えよう」といった育児講座を園庭で行い、講座開催日以外にも水やり等で来園してもらえる機会を設けています。また、「ふれあいあそび」等、オンラインでの育児講座も開催しています。

4. 調理員と連携した食育活動

子どもや保護者が食に興味を持てるよう、さまざまな取組を行っています。野菜や果物の栽培を計画的に行い、給食で提供したり、クッキング等で活用したりしています。調理員が作った食育ソングを給食前に歌ったり、食育寸劇を上映したりしています。また、保護者や地域の保護者が入れる玄関先に給食レシピを置き、自由に持ち帰れるようにしています。調理員が制作した食に関するCD付絵本は、子どもたちや地域の子育て世帯に貸し出しています。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度は園長・主任を含め、職員体制が大きく変わった年でした。第三者評価受審は新しいチームで上大岡東保育園の保育を見直し、何を大切に考え、子どもたちの健やかな成長を育てていくのか、職員全体で共有する良い機会となりました。

まずは一人ひとりが項目を確認し、5人程度のグループごとに話をしました。横浜市の中期計画や福祉保健計画など、今まであまり触れることがなかった行政の中での保育園の役割を学び、そこから保育士の自己評価や厚生労働省の「保育士チェックリスト」を活用し、職員が自身の保育を振り返る機会を作っていました。話し合いを通して理解が深まり、それぞれの職員の立場から「保育」について考えることができました。

新型コロナ感染症が流行し、新しい生活様式になり丸3年。保育園の行事の在り方や生活の仕方いろいろと変わってきました。子どもに関する痛ましいニュースもたくさんありました。どんな時も「子どもたちの笑顔」を守っていけるよう努めていきたいと思えます。

最後に第三者評価の受審に際し、お忙しい中アンケートに協力していただいた保護者の皆様、ご尽力いただいた評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり